

バッテリー火災 に 気をつけましょう



- ① **衝撃を与えない**
落下や体の下敷きにすると火災や事故につながります
- ② **充電ケーブルのコネクタは水分等がつかないように**
ショートして異常発熱し、ヤケドや火災になる場合があります
- ③ **正しいものを正しい使用方法で**
PSEマークの表示があるものを使いましょう
また、充電アダプタなどは付属のものを。改造・分解は絶対しない
- ④ **一般ごみと一緒に捨てない**
ごみ収集車で圧縮されることで火災となる場合があります



「PSEマーク」が
付いていないものに注意



☑ 以下の状況に該当する場合は、**要注意**

- 充電できない。
- 充電中に以前よりも熱くなる。
- 不意に電源が切れる。
- 外装が膨張し、変形している。（バッテリーパック膨張など）
- 落とす、ぶつけるなどで、一部変形している。



リチウムイオンバッテリーの破裂

火災・事故のリスクが高い

ただちに使用を中止し、購入店やメーカーの修理窓口にご相談

- 高温となる場所に長時間放置する。（車内など）
- 水没させる。水がかかる
- ペットがかみつく。唾液が付着する。
- コネクタ内部へのほこりや液体の付着。

使用時に異常が生じるおそれがある。

対応方法について取扱説明書を見るほか、必要に応じて修理業者へ

